

もりもり通信

2023年 夏号

八王子市議会議員

森ヨシヒコ 市政報告

(森ヨシヒコ後援会報)



森 喜彦 (もり よしひこ) 1981年4月生まれ。八王子市職員を経て八王子市議会議員(2期目)。無所属(会派は立憲民主・市民の会)。都市環境委員長、都市計画審議会委員。私立海城高等学校、東京都立大学法学部卒。趣味は登山やサイクリング、アマチュア無線など。保護猫と同居中。清川町在住。

つくろう 市民自治の 豊かな社会

はじめに

本年4月に実施された八王子市議会議員選挙において、市民の皆様の信託をいただき、2期目の議席をお預かりすることとなりました。行政と市民の架け橋として、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

この度の改選に伴い、市議会における会派構成や常任委員会等の役職も変更となりました。森ヨシヒコは1期目に引き続き「立憲民主・市民の会」に所属し活動します。

常任委員会は都市環境委員会となり、委員長に就任しました。都市計画や公共交通政策などといった暮らしを支えるまちづくり、自然環境や生活環境の保全、地球温暖化対策など、将来を守る環境づくりについて、議論を進めて参ります。

6月8日～26日まで第2回定例会が開会されました。主な議題は補正予算や条例改正です。上程された議案は賛成多数で可決されました。補正予算の内容や、一般質問で森ヨシヒコが議題とした内容、その他市政に関するトピックスを報告します。

八王子市市議会第2回定例会

・補正予算44億円の内訳

予算科目		金額
総務費	子ども若者基金への積み立て	1.3億円
	マイナポイント設定支援(延長対応)	0.7億円
	住まいの防犯対策補助金	1.1億円
民生費	非課税世帯臨時特別給付金	24.7億円
	保育所等利用多子世帯負担軽減	0.5億円
衛生費	带状疱疹ワクチン接種補助	1.9億円
	コロナウイルスワクチン接種補助・体制整備	10億円
	妊婦検診助成	0.5億円
	置き配バッグ・エコ家電更新	0.9億円
その他	その他	2.8億円
合計		44億4億円

※100万円の桁を四捨五入しています。

今回の市議会には約44億円の補正予算が計上されました。そのうちの約35億円は非課税世帯への特別臨時交付金やワクチン接種体制整備など、全国一律的に対応が求められる事業、東京都の補正予算を活用した事業等に充てられています。住まいの防犯対策補助金は、各家庭に設置する防犯設備の設置費用の一部を補助する事業です。高齢者を狙った詐欺事件や強盗事件が増えています。一人ひとりの心がけ、近所の声掛け、お出かけの際の鍵かけが基本ですが、器具の設置で対策が強化できます。また、温暖化対策として、市では置き配バッグを希望者に配布します。私たちの暮らしは多くの物流・輸送によって成り立っていますが、近年インターネット通販の増加等で、運輸における人的・環境的負荷も増大しています。再配達をしない「置き配」の利用に向け、鍵付きの頑丈なバッグの普及を図るものです。詳しくは市広報をご覧ください。



八王子市議会議員選挙 駅前演説会

一般質問

①教育センターの活用

高度経済成長、都市人口の急増に合わせて、八王子市は急激に公共施設の整備が進みました。それから50年余が過ぎ、人口減少社会の到来が間近に迫る今、これら生活インフラの維持管理、各施設の圏域の整理などは喫緊の課題です。都市化によって引き起こされていた過密化や交通渋滞、コミュニティの希薄化、格差や貧困、環境破壊といった諸問題が緩和されるようなこともあるかもしれませんが、これまで以上に地域特性に合わせた暮らし、一人ひとりの存在や能力が大切にされる社会を目指していかねばなりません。

教育センターは地域に合わせた教育の研究・研修をするとともに、各種教育相談なども行う施設です。現在の建物は築50年を迎え、大規模改修を検討しなければならない時期にきています。一方、八王子市は公共施設の維持管理を適切に行うための中長期保全計画や、各所管の施設の機能移転・統合などを進める公共施設マネジメント方針などを定めており、単一機能での施設の建設は、原則として行わないとしています。

教育センターに限らず、更新期を迎えている施設は数多くありますが、機能移転や統合は各施設の利用者にも大きな影響があることから、容易な話ではありません。

学校教育に今後求められるものや、とりまく環境の変化などを見据え、施設の機能や活用をしっかりと検討した上で施設の改修を取り組んでほしい旨を質問し、各所管の適切な連携を要望しました。

②再犯防止推進計画

非行や犯罪をした人を社会全体で受け止め、また過ちを繰り返さないようにする活動は、誰にでも居場所と出番がある社会をつくるうえで重要な取り組みです。本市では2021年に計画を策定し、警察や保護司、ボランティア団体や各種支援団体などと連携した取り組みを進めてきました。計画期間を半分すぎ、取組の成果や見えてきた課題などについて質しました。出所後の経済的な自立、人間関係の構築などを支えるために、多くの関係者が努力されていますが、プライバシー保護の結果、当人の境遇を周囲が知らないことで、必要としているであろう情報やサービスにたどり着けないこともあります。市で

は重層的支援体制の窓口として「はちまるサポート」を設置していますので、支援を求めている人も、支援する側の人も、相談の窓口として活用することを提案しました。

意見書の不採択

定例会では「健康保険証を廃止しないよう求める意見書」「有機フッ素化合物（PFAS）の水道水汚染の解明と対策を求める意見書」の提出が提案されました。マイナ保険証による事務効率化などのメリットは理解しますが、健康保険証の廃止（マイナ保険証への一本化）は、マイナ保険証を持っていない人の医療アクセスを阻害し、医療事務や保険金清算の事務コストを増大させます。PFASによる水源汚染は、都民の命と健康に直結する問題であり、原因究明と対策は国・自治体の責務です。意見書の提出に賛成しましたが、賛成少数により不採択となりました。

写真で振り返る直近の活動



総合水防訓練の視察をしました



西八王子駅前での宣伝活動



中野市民センター
七夕まつり



7月1日、都内公道でタンDEM自転車が解禁。視覚障害者の移動やスポーツにも使えます。

ホームページでの発信も行っています。

ニュースに対するご意見や感想、市政相談は下記まで気軽にお寄せください。後援会の加入、ポスター掲示の御協力、ポスティングなどのボランティアも随時募集しています。

発行・問合せ先：森ヨシヒコ後援会
〒193-0804

東京都八王子市清川町19-10

Tel: 070-5580-6844

Fax: 042-698-5013

Email: info@moriyoshihiko.net

WEB: <https://www.moriyoshihikohachioji.com/>

